

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	4021	(H.25)No.	4021
-----------	------	-----------	------

事務事業名	県施行事業負担金		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	都市整備政策室	我山 博章	

会計区分	事業コード	394001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	土木費	県施行事業負担金
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路新設改良費	県施行事業負担金

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	1	広域道路網の整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
広域的な連携を促進し、市民生活の安全・安心を確保するため、三重県が実施する県単道路事業、地方特定道路整備事業及び急傾斜地崩壊対策事業を推進します。		
事業内容		
県単道路事業、地方特定道路整備事業及び急傾斜地崩壊対策事業等について、地域の状況等を把握し、三重県の整備計画に基づき計画的に推進します。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画) H.28年度(事業計画) H.29年度(事業計画)		
	急傾斜地崩壊対策事業 <H.24繰越分> [国県事業] 夏秋・上比奈知2地区 負担金 4,901千円 <H.25現年分> [国県事業] 夏秋・上比奈知2地区 負担金 3,578千円 [県事業] 中知山2・夏見1地区 負担金 400千円 <H.26年度への繰越明許費> [国県事業] 上比奈知2・中知山2・夏見1地区 負担金 1,220千円	急傾斜地崩壊対策事業 [国事業] 夏秋・上比奈知2地区 負担金 10,500千円 [県事業] 上小波田地区 負担金 6,000千円	県単道路事業、地方特定道路整備事業及び急傾斜地崩壊対策事業等について、地域の状況等を把握し、三重県の整備計画に基づき計画的に推進します。	県の計画による	県の計画による

	H.25年度(決算見込)		H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	(4,901千円)	3,978千円	16,500千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
内訳(千円)						
国・県支出金						
地方債	(2,400千円)	1,700	8,200	5,000	5,000	5,000
その他()	(2,451)	1,989	8,250	5,000	5,000	5,000
一般財源	(50)	289	50	0	0	0
人工数						
職員		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等						
②概算人件費	(0千円)	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円
①+②総事業費	(4,901千円)	5,118千円	17,640千円	11,140千円	11,140千円	11,140千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
夏秋・上比奈知2地区については、県が事業主体となって市及び地元地区と調整等を行い事業を推進しています。 中知山2・夏見1地区については、昨年の台風18号により宅地の法面が崩壊したため、県の緊急対策事業として取り組んでいます。	今後も引き続き、急傾斜地崩壊対策事業に積極的に取り組むとともに、三重県など関係機関と十分な連携を図りながら、事業推進を行う必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか 一(施策指標の達成に分類できない)	
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	
負担金の支出は、特定財源の確保、事業負担率の軽減適正化など、関係機関に対して検討を要請します。	

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

--